

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

【課題】

特別支援学校高等部卒業生の一般就労率が全国平均値より低い

【目的】

ジョブ・コンダクターを6名配置し、企業への提案、各校の進路指導に関する助言、職場開拓等を行うことにより、各学校における進路指導體制の強化と困難事案の解決を図り、高等部生徒の一般企業等への就労率の向上を目指す



【成果】

- 一般就労率が8.2%向上
令和元年度 20.0% → 令和4年度 28.2%
- 一般就労希望達成率が19.4%向上
平成29年度～令和元年度 3年間平均値 : 69.5%
令和2年度～令和4年度 3年間平均値 : 88.9%

※一般就労希望達成率とは一般就労を希望していた生徒の一般就労率

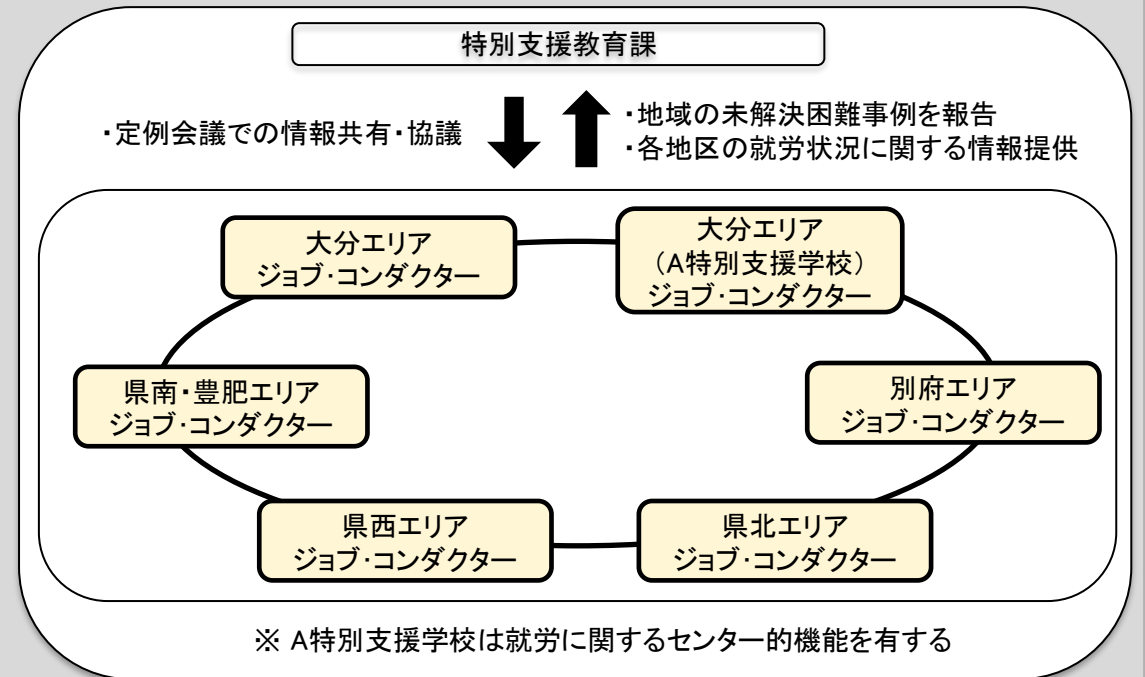
事業内容

【ジョブ・コンダクターの配置】

- 知的障がい者の就職に関する専門的知識を有する方をジョブ・コンダクターとして知的障がい特別支援学校に配置（6名）

（内容）

- ・生徒の特性等に応じた企業開拓
- ・生徒の特性等に応じた個別の業務内容や支援方法の提案
- ・学区を越えた進路情報の提供、進路指導困難事例に支援
- ・商工観光労働部、福祉保健部、企業団体等との情報共有



※ A特別支援学校は就労に関するセンター的機能を有する